



日本臨床腫瘍薬学会
JAPANESE SOCIETY OF PHARMACEUTICAL ONCOLOGY

日本臨床腫瘍薬学会 (JASPO) について

本会は**病院**、**薬局**、**大学**、**製薬企業**などに属する薬剤師やがん関連領域に関わるすべての人々が連携・協力し合うとともに、がん薬物療法に関する学術研究の進歩や科学的根拠のあるがん薬物療法の開発・普及により、抗がん薬による最善の治療効果の実現、副作用の軽減、重篤な健康被害の未然防止を図り、がん医療の発展や公衆衛生の向上に寄与することを目的とした学会です。

がん薬物療法(支持療法を含む)に関する以下の事業を行っています

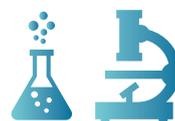
①
学術大会、講演会、セミナー、
研修会の開催



②
病院と薬局の連携の
強化・推進



③
臨床研究の支援、情報交換、
相互交流の推進、調査研究の実施



④
がん患者、家族に対する啓発



⑤
専門性を有する
薬剤師の養成・認定



⑥
会誌の発行、書籍の出版



会員になると? 5つのメリット

1

学術大会、
セミナーなどの
参加費が
優遇されます

2

会員間での質問や、
会員専用の
メーリングリストに参加し
情報交換ができます

3

外来がん治療認定薬剤師 (APACC)
外来がん治療専門薬剤師 (BPACC)
の受験資格が得られます

4

セミナーや
ハンドアウトの
会員優先申し込みが
できます

5

JASPO
学術大会で
発表することが
できます

◆◆ ごあいさつ ◆◆

JASPOは2010年10月に研究会として発足し、2022年3月には法人化された学会として満10年を迎え、会員数は5,000名を超え、がん分野に特化した学会としては、大きな規模になっています。これも日本人の2人に1人が生涯でがんになり、3人に1人はがんで亡くなる時代となったことで、日本人にとってがんは国民病といっても過言ではなく、すべての薬剤師が、がん医療を避けて通れない状況になっているためと考えております。

JASPOでは設立当初から、がん薬物療法に関する学術研究の進歩や、科学的根拠のあるがん薬物療法の開発・普及により、抗がん薬による最善の治療効果の実現、副作用の軽減、重篤な健康被害の未然防止を図り、がん医療の発展や公衆衛生の向上に寄与することを目的に活動しています。

昨今のがん薬物療法は、免疫チェックポイント阻害薬の開発や、がんゲノム解析による個別化医療等、刻々と変化しており、新たな時代へと進んでいます。このような状況下、薬剤師の果たすべき役割は、今後も一層大きなものとなることは必然であり、病院、薬局、大学、製薬企業に所属する薬剤師や、がん関連領域に関わるすべての人々が連携協力し合い、安心・安全ながん薬物療法を遂行するとともに、国民の健康維持に努めなければなりません。

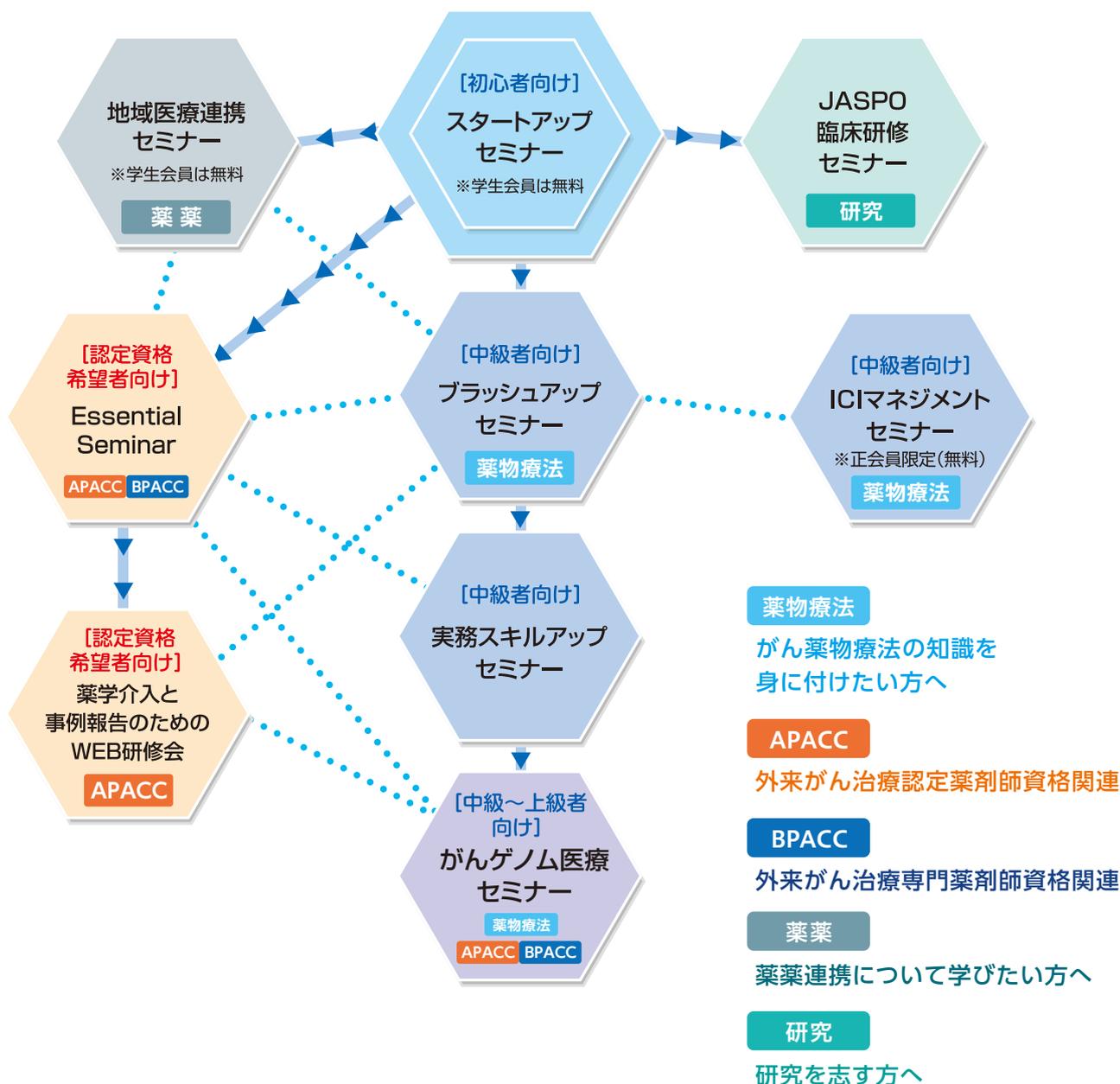
JASPOは、がん薬物療法の現場で実務に携わる会員(薬剤師)が、理事や委員の役割を果たしており、高いフットワークと行動力により、会員に対して、現場目線で魅力のある学会活動を提供しています。皆様もぜひJASPOを通して、薬の専門家としてがん薬物療法に貢献して欲しいと願っております。

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 理事長 近藤 直樹



主なセミナーのご紹介

2024年12月現在



学生会員募集

学生会員特典

- ・ スタートアップセミナーと地域医療連携セミナーの参加費が無料
- ・ 日本臨床腫瘍薬学会学術大会の参加料が無料
- ・ 「日本臨床腫瘍薬学会がん治療認定薬学生エキスパート」制度が開始予定
がん薬物療法の知識・技術を備えた薬学生を養成し、国民の保健、医療、および福祉に卒後早期から貢献できる薬剤師になることが出来るように「がん治療認定薬学生エキスパート認定制度」を準備中です。
JASPO2026学術大会でシンポジウム開催予定です。
※社会人学生の場合は正会員となりますことをご了承ください。

◆◆ 外来がん治療認定薬剤師・専門薬剤師 ◆◆

外来がん治療認定薬剤師 (APACC) は、

- ◆ 外来がん治療を安全に施行するための知識技能を習得した薬剤師
- ◆ 患者とその家族を、地域がん医療においてトータルサポートできる薬剤師

の養成を目指して創設された認定制度です。

外来がん治療専門薬剤師 (BPACC) は、APACCに加え

- ◆ 病院と薬局が緊密に連携して、がん薬物療法に対応できる薬剤師

の養成を目指しており、専門医療機関連携薬局制度に対応しています。

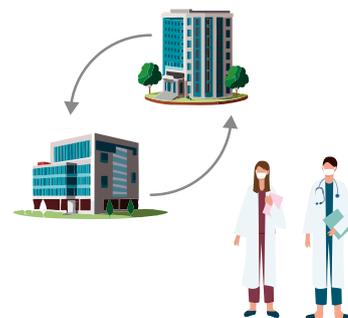


制度の詳細は
ホームページを
ご確認ください。

◆◆ がん診療病院連携研修 ◆◆

本研修は、がんの専門的な知識や技能に加え、臨床経験を修得し、病院と緊密に連携してがん薬物療法に対応できる薬局薬剤師を養成することにより、外来がん治療を安全・有効に施行するとともに、地域がん医療において、患者とその家族をトータルサポートできることを目的としています。

全国の研修認定病院(2024年8月現在214施設)で充実した研修を受けることができます。研修への応募をお待ちしております。



◆◆ 海外研修派遣事業 ◆◆

本研修は、がん領域の専門認定を有した薬剤師を対象として米国ニューヨーク州にあるがん専門病院およびPharmacy schoolで、施設見学および双方向性コミュニケーションを通じた多角的なエンパワーメントによるがん医療の発展を目的としています。

2022年度は、Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York Oncology Hematology Cancer Center, Touro college of pharmacyで研修を行いました。

海外渡航や留学の経験の無い方も研修に参加しておりますので、英語に臆することなく熱い気持ちの応募をお待ちしております。



◆◆ 日本臨床腫瘍薬学会雑誌について ◆◆

日本臨床腫瘍薬学会雑誌 (Journal of Japanese Society of Pharmaceutical Oncology: JJASPO) は、JASPOの機関誌として日常の臨床疑問や様々な業務への取り組みを研究としてまとめ、発表する場を提供しています。JASPOホームページより、どなたでも閲覧いただくことができます。がん薬物療法に関連した、がん治療の発展につながる投稿論文をお待ちしております。

投稿規程はホームページをご確認ください。



◆◆ 入会について ◆◆

1 会員種別

- ◆ 正会員 薬剤師およびがん薬物療法関連領域に従事する個人
- ◆ 学生会員 大学学部生及び大学院生 ※社会人学生は正会員の扱いとなります
- ◆ 賛助会員 この法人の目的に賛同し、この法人を援助する個人および団体

2 入会方法

▶ <http://jaspo-oncology.org/>

学会ホームページより手続きを行ってください



3 年会費(1~12月) ※年度途中の入会でも減額はありせん

正会員 ▶ 8,000円 学生会員 ▶ 2,000円 賛助会員 ▶ 30,000円 / 1口

問い合わせ先

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会事務局

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内

TEL **03-6267-4550** E-mail **jaspo@mynavi.jp**



JASPOのロゴマークは青空のようなブルーで表記し、先頭に虹をイメージした配色の4枚の花びらをかたどっています。これは病院、薬局、大学、製薬企業など多様な薬学関連の人々が、がん患者のために集結して協力していく本学会の理念とともに、JASPOが患者・社会に希望をもたらす存在であろうとする姿勢を表現しています。